

平成 30 年 9 月吉日

各 位 殿

(一般財団法人) 日本溶接技術センター

(一般社団法人) 愛知県溶接協会

抵抗溶接実務教育訓練講習会 開催のご案内

拝啓 新涼の候、皆様方には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より溶接技術の普及啓蒙に対しまして格別の御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、抵抗スポット溶接は自動車産業を中心に広く使われております。今まで様々な講習会が開催されてきましたが、理論から実際までをカバーする講習会が東海地区に於いてはありませんでした。そこで平成 24 年秋から、日本溶接技術センター主催、愛知県溶接協会共催で、名古屋市で本講習会を開催することにしました。本年も実務担当者及びスタッフ技術者を対象にプロジェクション、シーム溶接を含む実務教育講習会を 6 月、11 月の 2 回開催致します。実習と質疑を併設した講習会として、貴社および貴部門所属の関係者が奮ってご参加くださることをお願い申し上げます。 敬具

本年 2 回目 11 月は添付の資料詳細案内のとおり、**名古屋市工業研究所に於いて、平成 30 年 11 月 8 日（木）、9 日（金）の両日に開催いたします。**

本講習会は、案内状にも述べておりますように、講義と実習の組み合わせで日常業務にすぐ役立つ内容を目指しているものであります。新人・中堅を問わず、日頃、製造現場において抵抗溶接に携わっている方々、工程管理、品質管理部門のスタッフの皆様方に、体系的な再学習の場を提供し、また、最新の情報を提供できるものと考えております。この機会に関係各団体にご協賛を頂き、多くの方々の参加に繋げたいと考えます。

<協賛> 依頼中を含む

名古屋市工業研究所、(公財)名古屋産業振興公社、中部溶接振興会、
(一社)日本溶接協会、(一社)溶接学会東海支部、

なお、同様の講習会を過去 10 年余りにわたって関東地区で開催して参りました。そこに於いて受講者の方々から寄せられた質問の典型例を添付の資料に列挙しております。参加をご検討いただく際の参考にして頂ければ幸いです。

窓口担当：(一般財団法人) 日本溶接技術センター事務局、阿南睦章

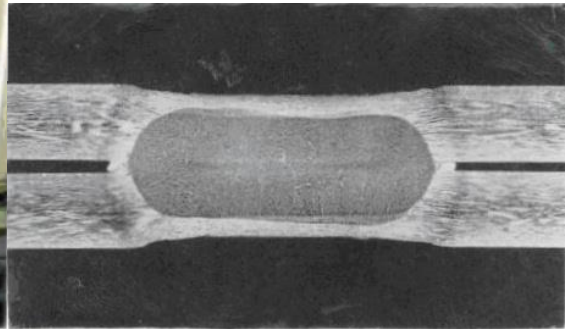
Tel. 044-222-4102、Fax. 044-233-7976、E-mail: anan@jwsc.or.jp

(一般社団法人) 愛知県溶接協会事務局

Tel. 052-651-6084、Fax. 052-651-6081、E-mail: weld@awes.or.jp

抵抗溶接実務教育訓練講習会 のご案内

本講習会は、抵抗溶接（スポット、プロジェクション、シームなど）を扱う現場の実務担当者およびスタッフ技術者を対象に、その技術対応能力の向上を目的としております。基礎と実際のつながりを重視し、講義と実習を組み合わせ、現場において直ぐに役立つことを念頭に置いたプログラムを特徴としておりますので、奮ってご参加ください。



- **開催日時**：平成30年11月8日（木）～11月9日（金）
9時30分～17時00分（受付開始：9時10分）
- **受講場所**：名古屋市工業研究所電子技術総合センター第5会議室（会場案内図参照）
名古屋市熱田区六番三丁目4番41号（極力、一般交通機関をご利用願います）
- **受講者定員**：25名（定員になり次第の受付締切りとなります。）
- **問合せ/申込み先**：（一般社団法人）愛知県溶接協会事務局宛
Fax 又は E-mail でお申し込み下さい。
TEL：052-651-6084 Fax：052-651-6081 E-mail：weld@awes.or.jp
- **受講料**（テキスト代含む）：30,000円（主催共催協賛団体所属会員／賛助会社員）
35,000円（一般）（消費税を含む）
- * 支払いは受講日の2日前までに下記宛、現金、現金書留、銀行振込のいずれかでお願
い致します。
（一財）日本溶接技術センター：〒210-0001 川崎市川崎本町 2-11-19
りそな銀行川崎支店 当座預金 No. 413442
- **本講習会の修了書**：
受講修了者に（一財）日本溶接技術センターから『修了証』が発行されます。
- **備考**：
（1）当日、教材用の資料を配布します。服装は自由、但し実習の時は保護めがね等の保
護具、作業上着を持参着用願います。筆記用具と簡単な電卓を持参して下さい。
（2）講習の最後に質疑応答の時間を設けております。あらかじめ質問事項を募集します。
FAXまたはメールなどでご連絡下さい。

質問送付先 Fax： 044-233-7976、 e-mail： koza@jwsc.or.jp

■ 教育訓練内容：

各種材料の溶接性と溶接条件の選定のポイントなどを解説し、加えて、品質管理の手順・関連資料の作成に関する具体的なモデルを提供いたします。

	午前 (9:30-12:00)	午後 (13:00-17:00)
第 1 日	『講義』（基礎編） ・ 溶接原理と溶接特性 ・ 基本的な施工課題	『講義&実習』（応用編） ・ 施工課題の対策 ・ 溶接標準試験法、試験体作製
第 2 日	『講義』（応用編） ・ 各種材料の溶接性 ・ スポット溶接の連続打点性	『実習&質疑』 ・ 品質検査、管理記録 ・ 質疑応答

講師予定者：高橋靖雄（元新日鐵住金）、長谷川和芳（元電元社）、
近藤正恒（愛知県溶接協会）

■ 会場案内図：

地下鉄：名港線（金山から名古屋港行）「六番町」下車（3番出口）すぐ
市バス：栄 22 系統（栄－港区役所）、幹神宮 2 系統（神宮東門－権野）等「六番町」
下車すぐ

<http://www.nmiri.city.nagoya.jp/access.html>



質問送付先＝日本溶接技術センター Fax:044-233-7976, E-mail : koza@jwsc.or.jp

氏名 :	所属 :	年 月 日
質問内容		

☆ (参考) 抵抗溶接に関する質問の典型例

1. ハイテン材は溶接条件設定が難しい(ナゲット径不良、散り多発)。どのように対処したら良いでしょうか?
2. アルミめっき材の溶接で問題になる点を教えてください
3. スポット溶接で交流電源と直流電源ではどのような違いが見られるか?
4. 電極形状の特徴とその適用性、各種材料に対する電極消耗の違いについて教えてください
5. 厚みの異なる鋼板や複数重ねた場合のナゲット形成はどのようになりますか?
6. 溶接部の硬さ分布と継手品質の相関は?
7. スポット溶接部の疲労強度についての考え方は?
8. スポット圧痕をきれいにする対策はありますか?
9. 散りが発生すると継手性能にどのような不具合が発生しますか?
10. 最適溶接条件を検討する上で、合理的で実用的な試験計画は?(変数の優先順位)
11. ナゲット径を図る実効性のある非破壊検査法はありますか?
12. 分流せずに適正な溶接ができるスポット間隔は幾らぐらいか?

以上、受講者各位からの質問例を記載しましたが、本講座ではこうした技術課題に関する疑問に答えられるよう講義内容に留意すると共に、質疑応答時間を設け、より具体的な質問に対しても解答を与える努力を行っています。

抵抗溶接実務教育訓練講習会の申し込み

下記の記入欄に必要事項を記入し FAX 又は E-mail で送付願います。

FAX No : 052-651-6081 E-mail:weld@awes.or.jp
(一般社団法人) 愛知県溶接協会

開催日 : 平成 30 年 11 月 8 日 ~ 9 日 (申し込み期限 10 月 26 日)

企業名 : _____ 事業所・部門 : _____
代表者名 : _____ 所属団体名 : _____ 無し (一般)
連絡先 : 〒 _____
住所 _____
TEL _____ FAX _____
E-mail _____

受講者 : 受講者の業務内容パターンを把握し効果的な講習に努めたいと考えておりますので、
洩れなく記載のほど宜しくお願いします。(複数記載可)
なお、記載内容は個人情報保護法に基づき、当講習会の目的以外には使用いたしません。

受講者		職務系統			受講料金 (支払方法)
氏名	年齢	A. 対象業界	B. 使用材料	C. 使用プロセス	

注) 職務系統欄の記載については、それぞれ下記から選択しその番号を記入して下さい。
その他を選ばれた場合、可能な限り具体的内容を備考欄に記載して下さい。

- A: 1. 自動車、2. 電機・電子、3. 機械工具、4. 建材、5. その他
B: 1. 炭素鋼、2. ステンレス鋼、3. アルミ (合金)、4. その他
C: 1. スポット、2. プロジェクション、3. シーム、4. その他

抵抗溶接実務教育訓練講習会会場詳細図

日時：平成30年11月8日（木）～9日（金）

会場：名古屋市工業研究所電子技術総合センター第5会議室&中間実験工場

- ・交通アクセスは会場案内図をご参照ください。
- ・9時20分までに受付を済ませて下さい。お車でお越しの方は指定駐車場へ車を止めて下さい。



実習場所：
中間実験工場 2 F

連絡・問い合わせ先：
名古屋市工業研究所
管理棟 4階
(一社)愛知県溶接協会
Tel : 052-651-6084 (外線)
3154 (内線)

受付：電子技術総合センター 2 F
第5会議室前（講義室）